

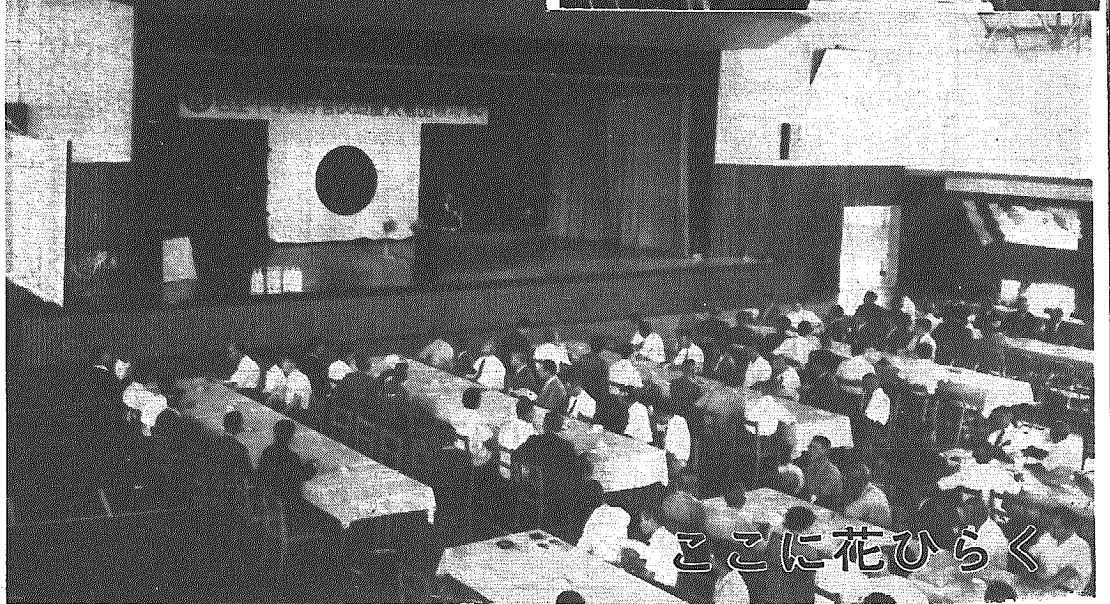
いわむら

発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷K.K

No.64



村民の熱意が



ここに花ひらく

岩中統合中学 農村集団電話 庁舎移転改築

喜びにわく／＼輝く瞳、うるむ瞳／＼

合同竣功式

村民みんなが待っていた、岩室中
学統合校舎建設、農村集団電話架設、
役場庁舎移転改築工事が完成、三重の
喜びにわく合同竣功式が二十五日午前
十時より、県下に誇りうる岩中体育館
で行なわれました。県知事代理、県議
隣接町村長、各種団体代表や、中学完
成の陰の功労者、土地提供者等が式典
に参列、喜びにうずまき行なわれまし
た。式場は『おめでどう／＼おめでと

う／＼』が連発され、祝福の声でうずま
った。これらの工事は村民の総意に基づき
行なわれ長年の懸案であったもので
村民一致の協力の結晶であろう。これ
らの完成によって、近代的農漁村、そ
して観光岩室に、第一歩を踏み出した
ことになる。明るく豊かな岩室村を建
設のためさらに前進しよう。
おめでどう。

農村集団電話架設

岩中統合校舎

今年十日開通以来『もし
もし』東京のオバサン私で
す、皆さん元気ですか、田
舎の皆さんも元気です……
『こんな会話が電話を通じ
て村内の各家庭の茶の間
から聞こえるようになった。
岩室、和納二十二部落
の五百七十四戸が加入、一
回線を五〜九戸が共用して
いるが、完全秘話式で、ダ
イヤルで自動交換を通過し
て集団内の通話も自由、北
海道、東京、外国電話も岩
室局を通じて通話できる。
この完成によって、電話普
及率は二戸で一台の割合で
50%以上となった。最近子
供の言葉づかいも変つてき
たと言われ、農村の近代
化、生活改善とあらゆる面
に効果があらわれてきてい
る。

『役場の建物はあれは倉
庫だ』と異名をいいたい、岩中統合校舎
たり書類一枚交付受けるの、昭和三十九年九月、旧間
に二階に上ったり、下がっ
瀬、和納、岩室の三中学校
の統合校舎として、起工式
の竣工式が行なわれて以
来、三年継続事業として、
総工費一億四千二百四十万
円を投入された。鉄筋三階
建校舎二むね(普通教室十
六、特別教室十、ステージ
つき体育館、給食室、工作
室完備)県下屈指の最優秀
校、教育村岩室を目指し進
んできた村民一致の努力の
結果であらう。

合同竣功式おめでどう
夏井、川崎徳次郎さん90才
私は八〇年の村の歴史を
知っていた。小さい時、背
中に子供をくくりつけて、
寺小屋に通った。だから充
分に、手習いできなかつ
た。しかし種作りには自信
がある。電話もできた。し
れからの村の発展がたのし
みだ。